

殿

令和 年 月 日

暖房給湯用被覆銅管

品名 HEタイプ, HEⅡSタイプ

種類 コイル巻

---

納入仕様書

---

旭菱チューブ株式会社 行田工場

〒361-0013 埼玉県行田市大字真名板1392

TEL 048-559-1230

FAX 048-559-1231

## 1. 適用範囲

本仕様書は次の被覆銅管(以下管という)に適用する。

用途：給湯、暖房用

形状：コイル管(2.5mまたは3.0m)

## 2. 製造方法

銅管はJIS H3300 C1220Tに準拠したりん脱酸銅継目無管(以下原管という)を用いる。

コイル管は原管を2.5mまたは3.0mに切断後被覆加工する。

被覆材は高発泡ポリエチレン30倍発泡相当品。

## 3. 品質

### (1) 一般的品質

- ① 原管は品質均一で、使用上有害な割れ、打ち傷、ダイスマーク等の欠陥があってはならない。
- ② 原管は実用的正円でなければならない。
- ③ 原管の内外面は美麗で、使用上有害な酸化物、ゴミ、切粉、油脂等の付着があってはならない。
- ④ 製品の表面は、甚だしいキズ、表面の剥がれ、切屑の付着等があってはならない。

### (2) 化学成分(JIS H3300に準ずる)

原管の化学成分は、表1による。

表1 原管の化学成分

種類	記号	化学成分	
		Cu%	P%
りん脱酸銅	C1220T	99.90以上	0.015~0.040

### (3) 機械的性質(JIS H3300に準ずる)

原管の機械的性質は、表2による。

質別は、O材を使用

表2 機械的性質

質別	記号	引張強さ N/mm <sup>2</sup> (kgf/mm <sup>2</sup> )	耐力 N/mm <sup>2</sup> (kgf/mm <sup>2</sup> )	伸び %	硬さ	結晶粒度 mm
O	C1220T- O	205以上 (21以上)	—	40以上	(HR15T) 60以下	0.025~ 0.060

#### 4. 原管寸法

(1) 原管の寸法は、表3による。

表3 原管の寸法

形状	呼び径	平均外径 (mm)	肉厚 (mm)
			Mタイプ
30m コイル	1/4	9.52	0.64
	3/8	12.70	0.64
	1/2	15.88	0.71
25m コイル	3/8	12.70	0.64
	1/2	15.88	0.71

(2) 原管の真円度の許容差は表4による。

表4 原管の真円度

肉厚／外径	許容差
	普通級 (等級)
0.01以上 0.03以下	3%以下
0.03を越え 0.05以下	2%以下
0.05を越え 0.10以下	1.5%以下 ただし最小値0.1mm

備考1. 真円度は軟質材及びコイル巻した管については適用しない。

備考2. 管の真円度とは、管の任意の断面の長径と短径との差の指定外径に対する割合をいう。

(3) 原管の長さの許容差は表5による。

表5 原管の長さの許容差 (単位 mm)

長さ	許容差
25,000 及び 30,000 (コイル巻き)	+600 0

## 5. 被覆材の準拠規格及び特性

(1) 被覆材は、表6の規格に準ずる。

表6 被覆材の準拠規格

規格	種類			記号	検査方法
JIS A 9511	ポリエチレン フォーム	保温筒	2種	A-PE-C-2	JIS K 9511

(2) 被覆材の特性は、表7による。

表7 被覆材の特性

項目	単位	値
熱伝導率 (平均温度 23℃ <sub>±3</sub> )	W/m·k	0.043以下
引張強さ	N/cm <sup>2</sup>	14以上
厚さ収縮率 (120℃±5℃)	%	7以下
透湿係数 (厚さ 25mm 当たり)	ng/m <sup>2</sup> ·s·Pa	20以下
耐熱温度	℃	-40~120

## 6. 被覆材の外観

被覆材の外観状況は、表8による。

表8 被覆材外観

検査項目	判定基準
色調	ホワイト 及び グレー
キズ、剥離	スリ疵、引っかき疵、剥離のないこと
汚れ	汚れのないこと

## 7. 製品の寸法及び表皮印字

製品の寸法及び表皮印字は、別紙製作図による。

## 8. 梱包及び表示

(1) 管は1梱包毎に次の項目を表示する。

- ① 品名、型番
- ② 寸法、数量(本数)
- ③ 製造番号、製造年月日
- ④ 製造業者名、販売業者名またはその略号

(2) 梱包状態

25mコイル及び30mコイルはカートン入りとする。

## 9. その他

本仕様書に記載した内容は、規格改定などにより予告なく変更することがありますのでご了承ください。

以上